

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路維持補修事業						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 市道及び道路附属施設等の維持、補修により、道路利用者の安全と地域住民にとって快適で安心なまちづくりの推進を図る</p> <p>【事業概要】 市道の舗装、側溝、安全施設、区画線等の補修など生活道路の改善を行っていく。 定期的に月2回、3班に分けて道路パトロールを実施するとともに、庁内イントラを利用し、毎月1日に道路異状箇所への報告を促すなど、市職員への生活道路に対する意識を高め、適切な維持管理を行う。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
補修処理率	%	98.7	98	96	96
パトロール実施回数(月2回)	回	25	24	24	24

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>通年による維持補修 ・補修実施箇所の完了 (令和3年4月～令和4年3月)</p> <p>道路パトロールの実施(月2回) (令和3年4月～令和4年3月)</p> <p>計画的維持管理 取手駅西口及び藤代駅自由通路エスカレーター補修工事 (令和3年6月起工～令和4年3月完成)</p> <p>橋梁及び横断歩道橋の補修工事(4橋) (令和3年6月起工～令和4年3月完成)</p>	<p>通年による維持補修 補修実施箇所(令和4年3月末) 確認件数: 1、255件 処理件数: 1、230件</p> <p>道路パトロールの実施 24回 取手市内を5地区に分け、3班に分かれて実施。</p> <p>計画的維持補修 藤代駅自由通路エレベーター・エスカレーター デジタル記録装置交換補修 (令和3年12月完成) 藤代駅自由通路及び取手駅西口広場エスカレーター補修工事 (令和4年3月18日完成) 取手駅西口エスカレーター屋根塗装補修工事 (令和3年9月30日完成)</p> <p>宮和田7号橋補修工事(令和4年3月15日完成) 中内第9号橋補修工事(令和4年1月14日完成) 新町横断歩道橋補修工事(令和4年3月15日完成) 中内第8号橋補修工事(補助割れのため、国へ補正申請。令和4年度実施)</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も補修要望については迅速に対応していく。 ・日常のパトロールに加え、月2回の定期道路パトロール道路を実施して監視体制の強化を図る。 ・市職員への周知徹底を図り、道路等の補修箇所の早期発見に務める。

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	0	34,871	172,053	橋梁及び横断歩道橋の補修工事を今年度より実施したことから、昨年度に比べ82、302千円増額となった。
	県支出金	-	-	-	
	地方債	21,300	41,800	126,700	
	その他	23,671	33,588	31,588	
	一般財源	202,329	212,992	213,422	
事業費計(A)	247,300	323,251	543,763	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	6	7	7	
	業務時間	11,520	13,440	13,440	
	その他職員人件費	8,683	9,142	9,963	
人件費計(B)	45,409	51,760	52,527		
トータルコスト(A+B)	292,709	375,011	596,290		

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路等管理業務						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要							
<p>事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の財産である道路・河川等を適正に管理することにより、信頼ある行政運営を図る <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道の道路施設(橋梁、防犯灯、街路樹など)の維持管理を行う。 市道の新設、改良等に伴い、市道路線の認定廃止手続を行い、道路台帳の補正を実施する。 境界査定未確定の区域(市道、法定外)について境界立会いを実施する。 道路占用、法定外占用の許可事務を行う。 茨城県道路整備促進協議会等の各協議会へ参画し、国・県へ道路施設整備促進の要望を行う。 							

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
橋梁定期点検	橋	36	45	62	29
橋梁及び歩道橋修繕(設計)	橋	7	1	0	4

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> 横断歩道橋補修工事実施設計の実施(1基) (6月起工～3月完了) 橋梁定期点検の実施(45橋) (6月起工～3月完了) 防犯灯の維持管理及び新設 (4月～3月) 道路施設(側溝・街路樹)の維持管理 (5月起工～2月末完了) 道路用地(草刈)の維持管理 (5月起工～2月末完了) 北浦川谷中第5号橋(仮称)相橋架替負担金 (4月起工～3月完了) 	<ul style="list-style-type: none"> 横断歩道橋補修工事実施設計業務委託 (令和4年3月15日完了) 橋梁定期点検業務委託(令和4年3月15日完了) 防犯灯の新規設置数(31基) 街路樹剪定などの維持管理 3単市第2-1号主要道路等街路樹管理業務委託 ほか5本 (令和4年2月28日完了) 道路用地(草刈)の維持管理 3単市第1-1号 道路除草業務委託 ほか6本 (令和3年12月10日完了) 北浦川谷中第5号橋(仮称)相橋架替負担金 (令和4年5月末完了) 	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	引き続き、適切で計画的な維持管理を行う。

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	32,374	26,770	22,385	橋梁長寿命化計画により、昨年度に比べ、35,971千円減額となった。
	県支出金				
	地方債	40,787	22,800	5,800	
	その他	5,376	3,984	4,067	
	一般財源	37,715	26,727	31,857	
事業費計(A)	116,252	80,281	64,109	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	8	8	7	<ul style="list-style-type: none"> 取手市公共施設の里親制度実施要領を活用し、取手市道に設けられた植樹帯の維持管理を実施している。引き続き、里親制度により環境美化等に対する市民意識の高揚を図り、美しき住みよいまちづくりを推進する。
	業務時間	14,208	14,592	12,672	
	その他職員人件費	12,224	13,534	14,680	
人件費計(B)	57,519	59,805	54,812		
トータルコスト(A+B)	173,771	140,086	118,921		

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	地籍調査事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 地籍調査を行うことにより、土地の正しい位置、境界、地番、地目、面積の明確化を図る。</p> <p>【事業概要】 国土調査法に基づき、地籍の明確化を図るために一筆毎の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果に基づき地図及び簿冊を作成する事業である。これらの成果は、法務局に送付されると登記簿の記載が改められ、固定資産税の課税など、様々な分野で活用されることとなる。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
地籍調査新規地区の面積	ha	15	8	13	18
地籍調査新規地区の総筆数	筆	633	588	743	900
地籍調査事業の進捗率 ※1	%	15.7	15.8	16.0	16.3

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> 白山Ⅱ地区(R3着手) 5月 地籍調査推進委員委嘱 6月 調査対象者への資料送付 7月～8月 長狭物調査 9月～11月 一筆地調査 12月～3月 地籍測量 白山Ⅰ地区(R2着手) 1月 地籍成果の閲覧 新町Ⅰ地区(R1着手) 7月 地籍成果の認証請求 10月 地籍成果の法務局送付 	<p>新規地区である白山Ⅱ地区(白山一丁目の一部)は、市の中心市街地に隣接する地域で、筆数・地権者数ともに多い地区であったが、地籍調査推進委員の方々や関係地権者の地籍調査事業に対する理解、協力により調査及び測量を予定通り実施した。また、2年目の白山Ⅰ地区及び3年目の新町Ⅰ地区についても予定通り実施した。</p> <p>○本市の調査実施済面積 950ha(令和3年度末現在) ※2 〃 調査対象面積 6,002ha</p> <p>※1 地籍調査事業の進捗率=調査実施済面積/調査対象面積 ※2 本市の調査実施済面積には国土調査法第19条第5項の指定及び法務局が実施した登記所備付地図作成作業の面積を含む。(国土調査法第19条第5項の指定とは地籍調査以外の事業(土地区画整理事業等)により地籍調査の成果と同等以上の精度・正確さを有する場合、この成果を地籍調査の成果と同一の効果があるものとして指定すること。)</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	地籍調査事業は息の長い事業であるが、事業の重要性や必要性は高く、着実に事業を進めて行かなければならない。

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			令和3年度の新規地区面積は令和2年度の半分程度であるが、総筆数が同等のため、事業費もほぼ同等となった。調査地区は、地番区域(大字)、面積及び筆数等を総合的に判断して決めており、年度によって面積や筆数が変動する。	
	県支出金	11,400	9,150		13,950
	地方債				
	その他				
一般財源	5,185	7,004	8,221		
事業費計(A)	16,585	16,154	22,171	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	4	4	4	調査地区内の市政協力員及び当該市政協力員の推薦を受けた調査地区内に居住し、土地に関して識見を有する方を地籍調査推進委員として市長が委嘱し、現地調査業務への協力を得て、地籍調査の円滑な推進を図る。
	業務時間	7,296	7,680	7,680	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	23,260	24,353	24,323		
トータルコスト(A+B)	39,845	40,507	46,494		

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	市営住宅管理運営事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要							
<p>【事業目的】 住宅に困窮する低所得者に対し、低家賃の公営住宅を提供することで、市民生活の安定を図る</p> <p>【事業概要】 ・市営住宅の維持管理及び修繕、運営を行う。 ・年2回の入居者募集を実施。 ・未収となっている家賃滞納者に対し、納付指導を行う。</p>							

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
家賃収納率(現年度)	%	98.3	98.5	97	97
募集戸数	戸	5	3	3	3

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>○家賃収納率 毎月、未納者に対して督促状・未納通知書を発送。</p> <p>○募集戸数 社会資本整備総合交付金の補助を受け、市営住宅の耐久性向上を図る整備等を実施し、入居募集用の部屋の修繕を順次行いながら、入居者募集を10月と2月に実施する。</p>	<p>○家賃収納率 毎月、督促及び電話・戸別訪問により、未納者に対してきめ細やかな納付指導を行った結果、目標値を上回る結果となった。</p> <p>○募集戸数 入居募集用の部屋の修繕を行い、10月に1個、2月に2戸の募集を行った。</p>	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	継続して適切で計画的な維持管理を行うとともに、未収債権についても継続的に調査を行い、債権管理条例に基づき適正に行う。

事業費(単位:千円)		R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	17,342	22,146		西方住宅・第二南住宅の外壁・屋根防水改修工事の実施を行ったことによる26,595千円の増額となった
	県支出金				
	地方債	23,400	42,400		
	その他	18,105	19,046	21,183	
	一般財源	97	1,976		
事業費計(A)		58,944	85,568	21,183	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	3,840	3,840	3,840	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		12,242	12,177	12,161	
トータルコスト(A+B)		71,186	97,745	33,344	

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業（山王通学路整備事業）						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 藤代中学校及び山王小学校の通学路となっているが、県道守谷藤代線から県道取手つくば線及び県道常総取手線への抜け道となっており、朝夕のラッシュ時には、主に自動車が多数通過している。通学児童生徒と車両が輻輳し、非常に危険な状況となっていることから安全対策施設整備を実施する。</p> <p>【概要】 歩道の新設し歩車道を分離、また路面標示を設置し、注意喚起及び安全対策を図る。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	-

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
整備延長 L=120m 令和4年3月末 安全対策施設整備工事	R3.6月～R3.12月 安全対策施設整備工事实施 L=120m	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	通学児童生徒が安全に通学できるように、安全対策施設整備を推進する。

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	30,417	19,361	28,240	令和2年度工事延長:L=130m+令和元年度工事繰越し分 令和3年度工事延長:L=120m、 の差が増減額となっている。
	県支出金				
	地方債	23,600	15,300	21,900	
	その他				
	一般財源	1,288	875	1,207	
事業費計(A)	55,305	35,536	51,347	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	1,594	1,586	1,584		
トータルコスト(A+B)	56,899	37,122	52,931		

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業（野々井通学路整備事業）						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 永山小学校と永山中学校の通学路となっているが、野々井地区から国道294号へ出るための主要道路であり、朝夕時には自動車、バイク、自転車が多数通過している。通学児童生徒と車両が輻輳し、非常に危険な状況となっていることから安全対策施設整備を実施する。</p> <p>【概要】 路肩に歩行帯(グリーンベルト)を新設、併せて路面標示を設置し、注意喚起及び安全対策を図る。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	-	-

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
整備延長 L=260m 令和4年3月末 安全対策施設整備工事	R3.6月～R4.1月 安全対策施設整備工事実施 L=260m (事業完了)	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
事業完了	

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	26,317	35,059		令和2年度工事延長:L=210mと 令和3年度工事延長:L=260mの差が 増額となっている。
	県支出金				
	地方債	20,400	27,200		
	その他				
	一般財源	1,133	1,486		
事業費計(A)	47,850	63,745	0	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2		
	業務時間	500	500		
	その他職員人件費				
人件費計(B)	1,594	1,586	0		
トータルコスト(A+B)	49,444	65,331	0		

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業（片町道路改良事業(藤代駅北口地区歩行空間整備事業)）						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 藤代駅北口周辺地区における市道5379号線は、藤代駅北口と藤代庁舎方向を結ぶ主要なアクセス道路であるが、朝夕には自動車と自転車及び歩行者が輻輳している状況から、道路整備を進めるものである。</p> <p>【概要】 歩道の凸凹の解消、また路面標示等で車道と歩道の通行帯を明確にし、安全で快適な空間を発現出来るよう注意喚起及び安全対策を図る。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	-	-

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
整備延長 L=212m 令和4年3月末 道路改良工事	R3.8月～R4.3月 道路改良工事实施 L=212m (事業完了)	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
事業完了	

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			令和2年度工事延長:L=153mと 令和3年度工事延長:L=212m+令和2年度工事繰越し分 の差が増額となっている。
	県支出金			
	地方債	8,600	55,000	
	その他			
	一般財源	460	3,007	
事業費計(A)	9,060	58,007	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	2	2	
	業務時間	500	500	
	その他職員人件費			
人件費計(B)	1,594	1,586	0	
トータルコスト(A+B)	10,654	59,593	0	

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業（井野団地外周道路改良事業）					
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課 道路建設課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 井野団地外周道路は非常に交通量が多い路線となっているが、舗装が激しく破損しており、近隣住民から振動被害など多々苦情が寄せられている状況である。また、事前調査の結果、車両荷重に耐えられる舗装構成となっていないことが判明した為、路床から改良する再整備を実施する。</p> <p>【概要】 舗装下の地盤から再構築、また新たな道路計画に併せ歩道も改築し、安全で快適な道路整備を図る。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
整備延長 L=210m 令和4年3月末 道路改良工事(1工区)	R3.7月～R4.5月 道路改良工事(1工区)実施 L=210m	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	車両荷重に耐えられるよう再整備を推進する。

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			令和3年度は工事年度であったため増額となっている。	
	県支出金				
	地方債	7,900	26,700		175,400
	その他				
	一般財源	463	1,410		9,256
事業費計(A)	8,363	28,110	184,656	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	1,594	1,586	1,584		
トータルコスト(A+B)	9,957	29,696	186,240		

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業(藤代横町雨水排水事業の推進)						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 藤代小学校付近(新町)で頻繁に発生する道路冠水被害対策として、柵木雨水幹線(枝線)を整備し接続する予定の箇所であるが、暫定改修により既設水路に接続するものである。</p> <p>【事業概要】 全体計画 L≒260m 雨水排水整備工事</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
排水整備率(整備事業費/総事業費) (新町工区)	%	38	74	100	

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> ・H28 詳細設計 ・R元(R2) 雨水排水工事 (BOX、L≒80m・人孔1基) ・R2(R3) 雨水排水工事 (φ800、L≒23m) ・R3(R4) 家屋事前・雨水排水工事 (BOX、L≒97m・U字溝、L≒58.2m・φ250、L≒12m・人孔1基)、移設補償 ・R4 家屋事後調査、家屋補償 	<p>R3年度については、関係機関でもある国土交通省、県南水道企業団、東京ガスとも協議を重ね、R3.8.23に請負業者と工事契約締結し、雨水排水整備を実施したが、地下埋設物(ガス・上水道)の調査をした結果、当初設計と上水道の占用位置について差異が生じ、それら関係機関との協議調整に不測の日数を要したためR4年度へ繰越、R4.5に完了予定である。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	平成28年度から詳細設計を行い、横町工区は平成29年度から管渠やポンプ施設及びU型水路を整備し、平成30年度に完了。令和元年度からは新町工区の整備を行い、令和4年度事業完了予定である。

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			令和3年度工事繰越にともない、事業費が増額となっている。	
	県支出金				
	地方債	56,100	54,700		36,400
	その他		1,936		
	一般財源	110	1,594		4,304
事業費計(A)	56,210	58,230	40,704	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	1,200	1,200	1,200	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	3,826	3,805	3,800		
トータルコスト(A+B)	60,036	62,035	44,504		

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業(稲雨水幹線事業の推進)						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 中央タウンは大規模開発により整備済み箇所でもあるが、近年の宅地化に伴い雨水流出量が増大し、特に西2丁目地内市道(1-2548号線)の道路冠水被害が多発し通行に支障を及ぼすほど滞水する状況であるために雨水排水を整備するものである。</p> <p>【事業概要】 全体計画 L≒427.0m U字溝布設工事</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
排水整備率(整備事業費/総事業費)	%	8	17	85	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> ・R元 基本設計 ・R2 実施設計 ・R3(R4) 雨水排水工事(U字溝、L≒275m) 移設補償費 ・R4 雨水排水工事(U字溝、L≒579m) 移設補償 ・R5 舗装工事(A≒3,200m²) 	<p>R3年度については、関係機関でもある県南水道企業団、東京電力、取手地方広域下水道組合、東日本ガスとも協議を重ね、R3.7.26に請負業者と工事契約締結し、雨水排水工事を実施。当初設計とガスの占用位置について差異が生じ、それら関係機関(東日本ガス)との協議調整に不測の日数を要したためR4年度へ繰越、R4.4に完了。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	令和元年度に基本設計で現地調査を行い、令和2年度に詳細設計、令和3年度から雨水排水整備を開始し、継続して令和4年度雨水排水整備をおこない、令和5年度に舗装工事を実施し、事業完了予定である。

事業費(単位:千円)		R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和3年度より雨水排水整備工事の開始にともない、事業費が増額となっている。
	県支出金				
	地方債	6,400	12,400	97,000	
	その他				
	一般財源	90	700	5,162	
事業費計(A)		6,490	13,100	102,162	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	1,200	1,200	1,200	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		3,826	3,805	3,800	
トータルコスト(A+B)		10,316	16,905	105,962	

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業(樋管維持管理事業の推進)						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 樋管・機場の維持管理、修繕を実施し、浸水等の災害から市民を守り、快適で安心なまちづくりの推進を図る。</p> <p>【事業概要】 雨水を市内の河川(利根川・小貝川)に排除し、浸水等の災害から市民を守るために、河川等の接合点である市所有の「排水樋管」・「樋管ゲート」・「樋管ポンプ」・「排水機場」計8施設及び、国土交通省所管の「樋管ゲート」計8施設や河川増水時に逆流を防止するため、樋管ゲートを閉め切った際に、内水排除を目的とした排水機場(計4箇所)および樋管ポンプ(計2箇所)や付帯施設を点検し、維持管理をおこなう。また、排水機場の施設の老朽化に伴い、令和4年度より各機場の自家発電機の改修工事をおこなう。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
排水樋管施設点検箇所数 (17回/箇所)	箇所	17	16	16	16

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> ・4月、年間保守点検業務委託や樋管操作の契約を締結。 ・毎月点検実施。 ・河川増水に伴い随時樋管・機場等操作 	<p>河川増水時に樋管(利根川13カ所・小貝川3カ所)や排水機場・ポンプ施設(利根川6カ所)を操作するため操作員に依頼し、毎月施設を4～5月・11～3月の濁水時期には月1回、6～10月の出水時期には月2回点検を実施。また専門業者には機械類の保守点検業務を委託し、不具合箇所について随時修繕を行った。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	市民の人命・財産を守るため、適正な維持管理を行っていく。

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				河川の増水により行う樋管操作状況や大型改修の有無により増減が伴う。
	県支出金				
	地方債	6,500		76,800	
	その他	6,580	6,007	27,258	
	一般財源	16,907	16,467	16,834	
事業費計(A)	29,987	22,474	120,892	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	3	3	3	
	業務時間	2,910	2,910	2,910	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	9,277	9,228	9,216		
トータルコスト(A+B)	39,264	31,702	130,108		

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業(排水路維持管理事業の推進)						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 排水施設の維持管理、修繕を実施し、雨水排水対策の充実により浸水及び冠水被害の緩和を目指し、快適で安心なまちづくりの推進を図る。</p> <p>【事業概要】 雨水幹線や既設水路の除草・汚泥浚渫・雑木伐採、雨水調整池の汚泥浚渫、排水ポンプ施設の機械類の点検整備及び修繕を行う。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
ポンプ施設点検件数	件	37	36	36	36

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> ・4月、年間保守点検業務委託の契約を締結。 ・年間点検実施。 ・不具合箇所については、随時点検業者と状況確認を行う。 	<p>雨水幹線(39路線)やポンプ施設(64台)・調整池22箇所が機能するように点検・清掃などを随時実施。 また、専門業者にポンプ施設の保守点検業務を委託し、不具合箇所について随時修繕を行った。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	道路冠水や浸水被害から市民を守るため、適正な維持管理を行っていく。

事業費(単位:千円)		R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				排水施設の操作状況や大型改修の有無により増減が伴う。
	県支出金				
	地方債	10,000	7,200		
	その他	4,464	1,724	886	
	一般財源	47,691	50,722	52,790	
事業費計(A)		62,155	59,646	53,676	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	3	3	3	
	業務時間	2,910	2,910	2,910	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		9,277	9,228	9,216	
トータルコスト(A+B)		71,432	68,874	62,892	

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	市民と協働による公園維持管理事業（都市公園施設長寿命化対策事業）						
総合計画重点施策	市民活動支援と協働の推進	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 市が管理する老朽化が進む公園施設に対して安全対策の強化、ライフサイクルコスト縮減並びに補修・更新費用の平準化を図る観点から、適切な施設点検、維持補修等の予防保全型管理のもとで、既存ストックの長寿命化対策および計画的な補修・更新等を行うことを目的として平成28年度に策定した「取手市都市公園施設長寿命化計画」に基づき、都市公園の施設を補修及び更新していく。</p> <p>【概要】 老朽化した施設・遊具等、公園の再整備を行っていくにあたり、地元自治会などと協議を行い、地元ニーズを反映した公園の計画・再整備を行う。また、維持管理協定等について合意形成を図り、利用者が望む公園を提供する。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
都市公園長寿命化対策事業を実施する公園数及び施設数	公園	10	9	27	27
	施設	19	21	61	43

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
※R2年度繰り越し事業として実施 【目標期限:R4年3月末】 ・取手緑地運動公園施設長寿命化工事 R3.4月～6月 現地調査・設計・協議(地元自治会等) R3.7月 起工 R3.8月 工事契約 R3.9月～12月 長寿命化対策工事 ・えのきど公園他公園遊具更新工事 R3.4月～6月 現地調査・設計・協議(地元自治会等) R3.7月 起工 R3.8月 工事契約 R3.9月～1月 長寿命化対策工事	※R2年度繰り越し事業として実施 【完了:R4年2月】 ・取手緑地運動公園施設長寿命化工事 ①取手緑地運動公園（四阿2基・スコアボード2基） ・えのきど公園他公園遊具更新工事 ②えのきど公園（滑り台1基、鉄棒1基） ③ききょう公園（滑り台1基、鉄棒1基） ④しらはた公園（滑り台1基、鉄棒1基） ⑤しんめい公園（滑り台1基、鉄棒1基） ⑥つつじ公園（滑り台1基） ⑦みやのまえ公園（滑り台1基） ⑧米ノ井辻田公園（滑り台1基、鉄棒1基、スイング遊具2基） ⑨日立住宅内公園（ブランコ1基、スイング遊具2基）	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	公園施設長寿命化計画に基づき、最新の点検結果を反映して、公園施設の補修及び更新を計画的かつ効果的に実施する。 市民とともに考え一緒に作り上げていく方法として、地元自治会等と協議を行い、利用者が望む公園を提供できるため、今後も継続していく。

事業費(単位:千円)		R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	27,597	16,965	30,738	令和2年度は複合遊具(大型遊具)を中心に更新したことから高額となっている。一方、令和3年度は単体遊具を中心に更新したことから減額となった。
	県支出金				
	地方債	27,500	15,900	27,600	
	その他			3,138	
	一般財源	904	1,917	0	
事業費計(A)		56,001	34,782	61,476	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	3	3	3	老朽化した施設・遊具等、公園の再整備を行っていくにあたり、地元自治会などとの協議の場を設け、地元ニーズを反映した公園の計画・整備を行うとともに、整備後の維持管理や利用方法等について可能な限り合意形成を図っていく。
	業務時間	3,000	3,000	3,000	
	その他職員人件費	0	0	0	
人件費計(B)		9,564	9,513	9,501	
トータルコスト(A+B)		65,565	44,295	70,977	

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	公園維持管理事業（遊具及び樹木の点検）						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 遊具の破損や枯木の倒木による事故を防止するため。</p> <p>【概要】 遊具及び樹木(公園施設)の点検を実施する。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
遊具の点検箇所数 (3回/箇所)	箇所	164	163	157	157
施設及び樹木の点検実施箇所数 (2回/箇所)	箇所	225	227	221	221

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>【目標期限】 R4年3月末</p> <p>【達成基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門技術者による定期点検(遊具) 1回/年 ・管理者による安全点検(遊具、施設及び樹木)2回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門技術者による定期点検(遊具) R3.6~10 1回完了 ・管理者による安全点検(遊具、施設及び樹木) R3.10・R4.2 2回完了 	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	公園の安全・安心な利用を実現するため、今後も継続して定期的な施設点検を実施していく。

事業費(単位:千円)		R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				・令和2、3年度は入札の結果により減額
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,408	2,334	3,426	
事業費計(A)		2,408	2,334	3,426	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	7	7	7	
	業務時間	560	560	560	
	その他職員人件費	360	360	360	
人件費計(B)		2,145	2,136	2,134	
トータルコスト(A+B)		4,553	4,470	5,560	

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	小堀の渡し運航事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要	
<p>【事業目的】 利根川を挟んだ両岸を一体的自然空間として活用し、観光船としての利用促進を図る。</p> <p>【概要】 新船就航3年目を迎え、観光船としての「小堀の渡し」を、市の内外へ情報発信するため、市の観光資源と連携した取り組みを実施し、多くのかたに観光船と取手の魅力ある観光スポットを周知する。</p>	

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
連携事業数	事業数	2	2	2	2

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
9月－11月 ・名所、旧跡等の観光スポットを活用した連携事業 9月－12月 ・公共交通機関等との連携事業	・旧取手宿本陣とのコラボレーション企画 市内の観光スポットである「旧取手宿本陣 染野家住宅」を広く知ってもらうため11月5日～21日の間、特別コラボを実施した。染野家住宅では特別展示が行われ、小堀の渡しでは期間中の金、土、日曜日は乗船無料で実施した。実施日9日間で合計907名のお客様が乗船し、月の乗船者数は1,261名と月別の乗船者数が平成13年度からの集計で過去最多の結果となった。 ・JR、関東鉄道 魅力総選挙について 茨城県の観光資源の認知度向上を目的として、10月1日～12月5日まで、鉄道沿線の自治体と茨城県の鉄道会社5社(鹿島臨海鉄道・関東鉄道・ひたちなか海浜鉄道・TX・JR東日本)で連携し、SNSを通じた茨城県全域の魅力発信を行った。 取手駅(関鉄・JR)では、駅長2人の乗船風景を撮影し、SNSにアップすることで小堀の渡しの周知を図った。	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	小堀の渡しの情報発信をするため、連携事業を継続して実施する。

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			原油価格の高騰により船の運航に係る燃料費が増加したため。	
	県支出金				
	地方債				
	その他	555	625		500
	一般財源	14,048	14,086		14,567
事業費計(A)	14,603	14,711	15,067	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	1,930	2,123	2,316	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	6,153	6,732	7,335		
トータルコスト(A+B)	20,756	21,443	22,402		

令和3年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	緑化推進事業					
総合計画 重点施策	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 市民の緑化意識の向上と市域の緑化推進を図る。</p> <p>【概要】 取手市緑化推進委員会と連携して、緑の募金による学校緑化、取手ガーデンロード花いっぱい事業等の緑化推進事業を展開する。また、市内の緑育活動の活性化を図るために、緑化ボランティア団体の活動を支援するとともに連携事業を実施する。</p>

成果指標	単位	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (目標)	R5 (目標)
緑の募金事業の実施数	回	3	3	4	4
取手ガーデンロード花いっぱい事業の実施数	回	2	2	2	2
緑化ボランティア団体との連携事業	団体	9	10	10	10

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>緑の募金事業 5月～3月</p> <p>取手ガーデンロード花いっぱい事業 6月・11月</p> <p>緑化ボランティア団体との連携事業 4月～3月</p>	<p>緑の募金事業 学校募金・企業募金・職場募金の3事業を実施し、集まった募金の交付金で学校緑化事業を実施した。当初は街頭募金も実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止とした。</p> <p>取手ガーデンロード花いっぱい事業 6月 コスモス種まき 11月 ポピー種まき 計2回を実施し、ボランティアのかたの協力のもと、ガーデンロードにきれいな花を咲かし、河川景観の向上を図ることができた。</p> <p>緑化ボランティア団体との連携 市内緑化推進団体 計10団体との連携事業を実施した。(森林インストラクター茨城・環境NPOとりで・緑水会・取手自然友の会・藤代まちづくり協議会・神住フラワーカナル愛好会・岡そば打ち同好会・絆会・小貝川プロジェクト21・緑の会)</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	市民の緑化意識向上と市内の緑化推進を図り、緑豊かな生活環境を形成するため、緑化の施策を継続して積極的に行っていく。

事業費(単位:千円)	R2(実績)	R3(実績)	R4(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント等による事業を中止としたことから減額となった。	
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,100	1,000		1,000
	一般財源				
事業費計(A)	1,100	1,000	1,000	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2	緑化ボランティア団体との連携により、緑化に対する知識の普及及び意識の高揚に努め、市民の自主的な緑化活動の育成を図る。	
	業務時間	1,860	1,860		1,860
	その他職員人件費				
人件費計(B)	5,930	5,898	5,891		
トータルコスト(A+B)	7,030	6,898	6,891		